

# 令和3年度 分校2期生 課題探究GS 最終発表会 発表概要

発表順	系列・学習群	発表タイトル	概要	関連するSDGs
1	対人支援	すべての年齢の人参加する百歳体操の実現	百歳体操とは、座りながら映像を見て足首や手首に重りを付けて体操をするものです。参加者はただ体操をしに来ているのではなく、交流も目的としています。私たちは地域の多くの人たちに健康で楽しく長生きしてもらいたいと思っています。福祉課と世話人さんに協力していただいて、様々な理由で参加していない人、これまで参加していない年齢の人に参加してもらうために活動をしてきました。	
2		小・中学生の学校生活をより良くするためのサポートについて	ささゆり学園が9年制の学校へと移行することを聞いたことが研究のきっかけです。小学生が中学生に進級するときの不安を解消するために、小学6年生と中学校の先生が仲良くなるためのイベントを企画して、11月に実行し小学生の不安が解消されたかどうかを確認するにイベント前とイベント後にアンケートを実施しました。	
3	地域活性	能勢町の観光ポスター作成による集客UPへの影響の検証	能勢町の新たな観光ポスターを作成し、この能勢町の知名度を上げるために活動していました。能勢町の観光スポットや特産品をピックアップし、知名度を上げ、観光客を増やすことが目的です。各事業所にお客さんを増やすことと同時に、能勢町のことを知ってもらうことで、能勢町に興味を持ってくれると思います。インタビューからアンケートまで長時間かかりましたが、その時間なりの良い出来になっています。	
4		身近な生物への興味・関心を高めるための生き物マップの作成	能勢町の生物多様性の豊かさを知ってほしい！という想いのもと、2種類の生き物マップの制作に取り組みました。以前からある能勢町の生き物マップは能勢町全域を広く紹介したものでした。その生き物マップは子どもに見づらく、難しいものでした。そこで私たちが一新して見やすくわかりやすい生き物マップを作ろうと思いました。その制作の一部をささゆり学園の中学1年生と一緒に行うことで、生き物への興味・関心を高めることを目標にしています。	 
5		地黄湿地の看板作成による保全活動への寄与	私たちのテーマは地黄湿地のポスター作成です。現地や能勢の観光地に作成したポスターを置いてもらうことで、地黄湿地についてや、その良さをたくさんの方に知ってもらい、観光客を増やすことが目的です。授業でもお世話になっている大阪みどりのトラスト協会から依頼を受け、一緒に話し合いを進めながら作成しました。工夫した点は地黄湿地の希少な動植物の写真をたくさん載せたところです。今後は実際に看板を設置し、どのような影響があるか検証していきたいです。	
6	食農流通	シュレッダーダストの再利用を考える	私たちは「くらしと動物」という授業の中でニワトリの飼育管理をしています。管理作業の中で糞尿で汚れた敷料を交換する除糞作業があります。この作業はとても大変で何かいい方法はないかと考えました。そこで私たちは普段使用している稲わらの代わりにシュレッダーダストに着目しました。また、シュレッダーダストを敷料として使うだけでなく、敷料を堆肥化し、肥料として畑に利用できないかとも考え取り組みました。	
7		ブドウの強摘心栽培が果粒の成熟に及ぼす影響について	本校農場で生産するブドウについて栽培方法の改良や省略化につながる新たな技術を模索しています。最近「シャインマスカット」において強摘心栽培という方法があることを知り、コンパクトに栽培できる方法として本校栽培品種への導入の可能性を検討しました。また、能勢町に開園して8年ほどになる「旭ファーム」を見学し、最新の品種や実践的な栽培技術を学び、能勢でブドウ栽培に取り組む想いなどを聞かせていただきました。	 
8		農作物獣害問題の解決に向けて～ご当地バーガーで農業を救え!!!～	私たちは地域の獣害被害対策について学びました。なぜ学んだのか。それは私たちが農業を学ぶ中で栽培した農作物に獣害被害が出たからです。そこでこの問題の解決のために何かできないかと考え、狩猟について調べ、各地域で害獣(ジビエ)が増えて農業だけでなく環境にも被害が出ていることを知りました。狩猟により捕獲したジビエを活用し地域活性につながればいいなと思い、シカ肉を活用したご当地バーガー作りに取り組みました。	 
9	探究系列	農業をしやすい「能勢」を作る	能勢町の農業はこのままでは衰退してしまおうという問題意識から、農地の課題探究を始めました。実際にインタビューをする内に、他の様々な問題が見えてきたことでテーマを大きく変更しました。変更後は「新規就農者」に焦点をあて、新規就農者の方が入りやすい・働きやすい町にしようという活動をしています。10年前に新規就農者として能勢に来た農家さんにご協力いただきながら、SNSを使った普及活動を行っています。	 
10		ゼロカーボンタウンの普及	能勢町での持続可能な社会に向けてゼロカーボンタウンが大事だと思い、それをたくさんの人に広めるため様々な事に取り組みました。小学4年生と中学2年生に発表したり、小中高一貫教育研究発表会に参加したりしました。この2つの内容をまとめたものを役場で発表し、ゼロカーボンタウンの重要性を伝えてきました。その他にドイツでの環境に対する日本との意識の違いなどをドイツからの留学生から学び能勢町のゼロカーボンタウン実現へのヒントにしていく予定です。	 